

製品名: ATG4C マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81891**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	52.5kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG4C
別名	APG4C; AUTL1; AUTL3; APG4-C
遺伝子 ID	84938.0
SwissProt ID	Q96DT6
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATG4C (AA: 321-458) の精製された組み換え断片。

背景

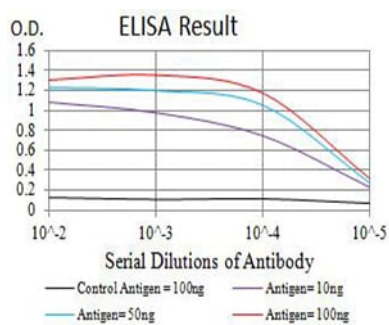
オートファジーは、内因性タンパク質や損傷した細胞小器官を細胞内で破壊するプロセスです。オートファジーは、分化、変態、非アポトーシス性細胞死、そして老化における細胞の恒常性維持と細胞リモデリングに不可欠であると仮定されています。一部の悪性

腫瘍ではオートファジーレベルの低下が報告されており、がんに関連する制御不能な細胞増殖の制御におけるオートファジーの役割が示唆されています。この遺伝子は、オートファジタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、システインプロテアーゼの C-54 ファミリーのメンバーとしても指定されています。同じタンパク質をコードする代替転写スプライスバリエーションも特徴付けられています。

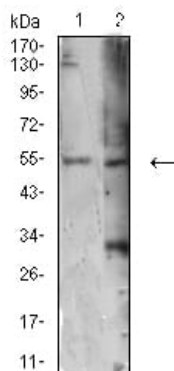
研究分野

オートファジー

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



HEK293 (1) および MOLT4 (2) 細胞溶解物に対する ATG4C マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。